

平成 20 年 12 月 15 日

南海電気鉄道株式会社

南海電鉄・^{こうや}高野線 “ 観光列車 ” の愛称が
^{てんくう}「 天空 」に決定！
平成 2 1 年 7 月に運行開始！

南海電気鉄道（本社：大阪府中央区、社長：亘 信二）では、「こうや花鉄道」プロジェクトの一環として平成 2 1 年に高野線で導入する “ 観光列車 ” の愛称を一般公募しました結果、同列車の愛称を「天空」に決定しましたのでお知らせします。

また、同列車の運行開始日を同年 7 月 3 日（金）に決定しましたので、あわせてお知らせします。



観光列車「天空」（イメージ）

天空

「天空」のロゴタイプ

2. 観光列車「天空」の運行開始について

- (1) 定期運行開始日 平成21年7月3日(金)
定期運行開始に先立ち、別途「プレ運行日」を設定する予定です。
- (2) 運行日 通常(3月~11月) 水曜日・木曜日を除く毎日運行(水曜日・木曜日が
休日の場合は運行)
冬季(12月~2月) 土・休日(ただし、一部設定除外日あり)
- (3) 運行区間 高野線・橋本~極楽橋間(19.8km)
- (4) 運行時刻 1日2往復(所要時間:片道約40分)
(予定) 平日(下り)橋本駅発 10:13 13:39
(上り)高野山駅発 11:06 14:50
土・休日(下り)橋本駅発 10:34 13:22
(上り)高野山駅発 11:48 14:48
高野山駅発の時刻はケーブルカーの発車時刻です。極楽橋駅で「天空」と
接続します。

<ご参考> 観光列車「天空」の概要

- (1) コンセプト 観光列車は、高野山という目的地に向かう道中である列車の旅を、日常世界から高野山の自然・精神世界への移行の過程として、俗世間から精神世界へと「Change of mode」できる乗り物をコンセプトにしています。国内有数の山岳区間を経ながら旅気分への切り替えができ、感動や思い出への期待感が増幅されていくことを狙っています。
- (2) 観光車両 2両1編成(指定席車両×2両)
一般車両2200系を“観光車両”に改造して使用します。
- (3) 指定座席数 2両合計76席(高野山・極楽橋側から37席+39席)
- (4) 座席の指定料金 大人500円 小児250円
(予定) 指定券の発売開始日・発売方法については現在調整中です。
運賃が別途必要です。
- (5) 車両完成予定 平成21年春
- (6) 主な設備 座席は、線路の北側・西側に広がる紀の川・不動谷川や険しい山間の風景を見渡すことができる「ワンビュー座席」や、4人掛けの「コンパートメント座席」などを設けます。
高野山・極楽橋側の車両に「イベントスペース」を設けることで、ミニイベント実施が可能となります。
難波・橋本側の車両には森林の空気(外気)を取り入れる「展望デッキスペース」を設置します(全国の手私鉄で唯一)。

「こや花鉄道」プロジェクトについて

「こや花鉄道」プロジェクトとは、高野山という目的地に加え、「そこへ向かう道中」としての鉄道の魅力を作り出し、高野山旅行の「楽しさ」や「期待感」を地域の皆さまとともに創出する取組みです。すでに下古沢駅での「花屏風」設置や、地元の小学生約200人が描いた四季を通じて見られる花の絵を車両にラッピングした「花のラッピング列車」の運行などを実施しています。今回の観光列車運行のほかにも、極楽橋駅・高野山駅のバリアフリー化（現在工事中）や地域とともに行うイベントなどを計画しています。

内容については、詳細が決定次第随時発表します。

以上

